

研究テーマ

共に学び合い，自己を表現できる子どもの育成

～道徳科にいける考えたくなる導入の工夫と振り返りを保障する授業を通して～

第3学年 道徳科学習指導案

主題：親切とおせっかい

「わたしのしたこと」【B 親切，思いやり】



令和元年 7月1日（月）5校時
豊見城市立豊崎小学校 3年4組

第3学年 道徳科学習指導案

令和元年7月1日(月)第5校時
3年4組 男子18名 女子17名

1 主題名 親切とおせっかい 道徳の内容 B- (7) 親切, 思いやり

2 ねらい

◎親切とおせっかいの違いに気づき、相手の立場や気持ちを考えて、相手にとって良いと思うことをしようとする。

3 教材名 わたしのしたこと (出典: 光文書院「ゆたかな心」)

4 主題設定の理由

(1) 道徳的価値

指導内容は、B「主として人とかかわりに関すること」の(7)「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」である。

親切とは、相手の心を感じ取り、その心を行動に移すことをいう。人が困っていたり、苦しんでいた、悲しんでいた、苦しんでいる気持ちが自分のことのように思えることで、何とかせずにはいられない心が強くなるのが思いやりであり、その心が相手を励ましたり、助けたり、慰めたりする行為となる。

反面、おせっかいは相手の立場や気持ちを考えずに自分の思いだけで行動してしまうのである。思いやりの心が伴わないその行為は、自己満足に陥り親切とはいえないものになってしまう。

中学年の段階においては、学校生活を中心として友達同士の交流が活発になるとともに、活動範囲も広がっていく。様々な人々との関わりが次第に増えていく中で、相手の気持ちを察したり、相手の気持ちをより深く理解したりすることができるようになる。一方、ともすると他の人々の考え方や感じ方が自分たちの考え方や感じ方と同様であると思いがちになることもこの時期の特徴といわれている。そのため、相手の思いに寄り添い、相手にとって気持ちの良いことは何かを考え、相手に対する思いやりの心を育てることが一層重要になる。相手の気持ちや立場を考慮してどのように行動することがいいのか深く考えさせたい。

(2) 児童観

本学級の児童は日々の学校生活で、男女仲良く学習することができるが、限られた仲のいい友達との交流が多く、その中で助けたり助けられたりしている姿が多くみられる。人権の日アンケート

から、ほとんどの児童が「困っている人に気付かなかった」、「声をかけなかった」と回答し、「自分が困ったときがなかった」、「優しくしてもらっていない」と回答していることから、自分自身のことばかりで周りの友だちの困り感に気づいていない児童が多い。また、仲の良い友達のことにか目を向けていない児童もいると考えられる。友達同士の関わり合いに入り込み、自分のしたことがおせっかいになっていると気づいていない児童もいたことから、今後のよりよい友達関係づくりについて考えるきっかけにしたい。

(3) 教材観

主人公の「わたし」が色塗りが苦手なノンちゃんの手伝いをしてあげたことで、二人の関係が気まずくなってしまふ。「わたし」のノンちゃんに対する思いやりが、親切ではなくおせっかいになってしまふ。「わたし」とノンちゃんの気持ちのずれを知ることにより、「おせっかい」は互いの気持ちを良くするものではなく、一方の自己満足に終わってしまふ、それでは意味がないことに気づかせたい。相手の気持ちに寄り添って考えることで、本当の「親切」とは何かを深く考えさせたい。

(4) 校内研究との関連

共に学び合い、自己を表現できる子どもの育成
～ 道徳科における考えたくなる導入の工夫と振り返りを保障する授業を通して ～

導入では、どの児童にもイメージしやすい「親切な人」について問い、本資料の主たる内容項目「親切」についての考え方の共有を図り、資料へとつなぎたい。中心発問では、「私のしたことが親切といえるのか」について自分で考えた後、一人ひとりに自分事として考えを深めさせるために交流の場を設定し、互いの意見を交流させる工夫をする。また、資料の「わたし」の行為と親切な人のイメージを比較させることで「親切」と「おせっかい」の違いに気づかせ、これまでの自分の経験を振り返らせることで、児童は実践の方向性を考え、これからの実践意欲につなぐ。さらに、終末でも、再度「親切な人」について問うことで、授業での学びを実感させる。

5 本時の学習

(1) 授業の工夫

- ①フィードバックできるような導入の工夫。
- ②グループでの話し合い活動や全体での共有や学び合いを通して親切に対する考えを深めさせる。

(2) 学習指導過程

段階	学習活動	○主な発問◎中心発問・予想される反応	・指導上の留意点☆評価
導入 5分	1 親切な人に対する自分のイメージをもつ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○親切な人ってどんな人？</div> <ul style="list-style-type: none"> ・優しい人 ・頼りになる人 ・困っているとき助けてくれる人 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容項目に対する児童の思いや考えをそれぞれもたせる。
展開 30分	<p>2 資料「わたしのしたこと」を読んで親切について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしのしたことは親切だったのか」考える。 ・全体で共有する。 ・自分の考えをグループで伝え合い意見交流する。 ・「わたしのしたことは親切だったのか」について自分の考えをノートに書く。 ・それぞれの考えを全体で共有学び合いながら、考えを深める。 <p>3 本当の親切について考える。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">◎わたしのしたことって、いったい…親切だったのだろうか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのしたことは親切ではないと思う。ノンちゃんが悲しそうな顔をしているから。 ・わたしはよいと思ってやったけれどノンちゃんにとってはうれしいことではなかったから親切ではない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">○本当の親切ってなんだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて行動する。 ・どちらもいい気持ちになる。 ・相手のしてほしいこと、してほしくないことに気づく。 ・手をかしてあげることだけが親切ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしの行動やセリフ、つぶやきからノンちゃんにとって良かれと思ってとった行動なので、「わたしのしたことは親切だよね」という立場でゆさぶる発問をする。 ・わたしのしたことは悪いことだったのかと問い返し、ノンちゃんの気持ちを考えていないわたしの行動やセリフに気づかせる。 ・「おせっかい」にならないために大切なことは何かを問い返し、相手の状況や困り感を自分のこととして想像することの大切さに気付かせたい。 ☆自分の思いだけで行動してしまうとおせっかいになるということに気づいたか。(ノート・発言)

<p>終末 10分</p>	<p>4 今日学んだことを振り返る。</p>	<p>①今日学んだこと ②今までの自分の行動の振り返り ③これからやってみたいこと</p>	<p>・学んだことを自分の生活にどう生かすか考えさせる。 ☆相手の立場や気持ちを考えてどのように行動することがよいか考えることができたか。(ノート)</p>
-------------------	------------------------	---	--

(3) 評価

○親切と思ってしたことでも自分の思いだけで行動してしまうとおせっかいになるということに気づき、相手の立場や気持ちを考えてどのように行動することがよいかについて考えることができたか。

(4) 板書計画

☆ 親しい人って
どんな人?

- ・思いやりがある人
- ・やさしい人
- ・助けてくれる人

⇓

- ・相手の気持ちを考え、行動につなげる人
- ・自分のことも相手のことも考えられる人
- ・気づいてあげられる人

♡ 7/10 9 わたしのしたこと

☆ わたしのしたことって親切?

- ・勝手に色をぬいた
- ・無理やりした
- ・ハンカチの気持ちを考えていい
- ・たけなつかりだたしに気がした

わたし (happy face) → 色ぬいた、手伝った、金しりぬいた → ハンカチ (sad face)

本当の親切って
何だろう